Snr. M. Kobaya
小林美登利殿
Caixa. 2—Z

Num. 251 SEMANARIO DE SÃO PAULO 15-Outubro-1926

聖州新報

一時歸國は命の洗濯

當聖州は常夏の國ではないも、亞熱帶地方だから、年中暑い期間が温帶よりも長い。此地方 温帶生れの日本人が野什事と農業による民生活を營む、それが鐚一文の場遇より、短かい期間に相當財資を働き出さうとするのだから精神、肉體に過勞をやる結果、無理な疲勞する。それが今日の日本殖民の容貌の上に、ヒドク現はれて來てる。

嘘と想ふ人は、奥地殖民地を親しく廻つて、彼等の容貌を見るがいい、爭はれぬ苦悶、衰の影が、その顔面にたゞよつて居らぬと云へるだらうか。

食物攝取の滋養によつて、此疲勞を償ひ得れば結構だが、亞熱帶食物の滋養質量が、温帶食物のそれと比較した時、甚だフラコなものであることは、お互毎日食ふ所謂米の飯や、牛肉の味からも知れる如く、一般殖民者の食物攝取カロリーは、其勞働能力の消費カロリーを充分滿たしてくれる程、豊かな良質の物ではないのだらう。

それから温帶生物の吾々が、亞熱帶生活へと急遽轉換した爲め、どれだけ細胞の先天的生活能力を殺がれねばならぬだらうか、おまけに言語不通の爲め、社會的精神萎縮、他人種の國に住むと云ふ謙遜、社會的又個人的習慣の相違から來る氣遣ひ、遠慮、可成り豪放性の人でも、相當コンモポリズムになりきつた樣な人でも、在伯の日本人は大抵肉體的にも、精神的にも昏疲し出して居る。

祖國を持たぬ民は、此國に移住して斯くてこの儘、此國の文化に陶然とし一生を終るであらう。

然し精神的にも物質的にも、一層進んだ良い文化を持つ日本人は此儘この國に同化して一生を終つたら、唯に自己一生の退化のみでない、其子孫も、親より一層退化した人間になつてしまうであらう。

日本殖民諸君、出來ることなら久振りの一時歸國をやるがいい。最近の日本文化の進趣味に浸り智の研磨をなすと共に、不足がちな肉體の充實もやり、心行くばかり故郷の土と水と風に、心身を休養させて來ることだ。

一時歸國、それは殖民にとつて生の改造でもあり、復活でもあり、疲勞しきつた命の洗濯でもある。斯くての再渡伯は、又此伯國を一層高き文化へと誘ふ所以でもある。

Roero Kowyama
Redactor
do Semanario de São Paulo
Caixa, 58 — BAURÚ
Estado de São Paulo - BRASIL
社主兼編輯人 香山六郎

貸自動車
Automovel
自働車は御通知次第直に驛參上致します。
ポテキン
伊藤三郎
ノロエステ線
ブロミッソン郵函一〇三

Dr. Jayme Halfeld
民事 商事 刑事
其他
辯護士
ジャイメ
アルフエルド
バウル市アベニーダ
電話二六番

HOTEL e ARMAZEM JAPONEZ
Caixa, 261 — Pennapolis
雜穀仲買
雜貨小間物商
日本旅館
ノロエスタ線ペンナポリス市アベニーダ
ルイズ、オゾーリオ七六 郵函二六一
代田喜市

Dr. J. de Cunto Junior
Praça Ruy Barbosa—Tel. 222
Baurú
聖市サンタ、カーザ外科醫、婦人外科醫界
奈頭ドトール、アイレス、ネット氏助手
首府リオ、サンタカーザ婦人科倉護班事業自主任、
自由血 汐病院兼主治醫
バウルー、サンタ、カーザ外科婦人臨床科主任
ドトール、ジ、デ、クント、ジュニオール
外科手術、婦人神經衰弱症、泌尿器症
右專門のみの診察を受諾す
診察時間 午后一時より 五時迄

新荷到着
中矢商店
K. NAKAYA
R. C. Sarzedas, 13
S. Paulo

Hotel Oriental
Armazem de Seccos e Molhados Bebidas
Caixa, 47 Tel. 81
Est. PROMISSÃO
東洋旅館
並に 平田商店
北西線プロミッソン驛
館主 平田千嘉藏

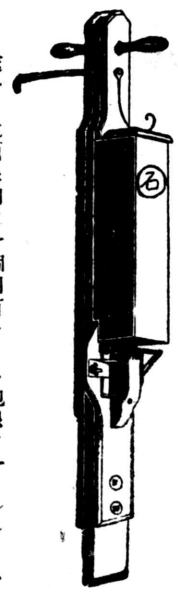
N. Y. K. LINE.
F. S. Hampshire & Co. Ltd.
S. Paulo: Rua Alvares Penteado, 17 Sobrado
Santos: Rua 15 de Novembro, 147 Sobrado
日本郵船會社出帆廣告
日本行には一番早い航路
(南米日本間約五十日)
鎌倉まる
十月廿五日サントス港出帆
神奈川丸 十一月中旬サントス港出帆
日本行の便宜
日本郵船會社船は略毎月一回神戸向サントスを出帆致します
他船に較べて日本へ約十日間も早く着きます
日本へ歸られる船客は南阿の一部を除いて途中御上陸が隨意に出來ます
衛生設備の整頓、食事の優良、乗組員の懇切等に就き定評があります
▲詳細は何卒上記代理店へ▼

御旅館
松山三郎
聖市、カンタレイラ街九〇番
電話シダーデ七一三六
郵函 一二四三

新流行反物、内外化粧品、日本小間物類、
文房具類、食料品、種子物、書籍、
金物類
穀物仲買
アルマゼン
ヤナギ兄弟商店
北西線プロミッソン町 郵函十八

THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.
RUA DA CANDELARIA, 23
CAIXA, 380
RIO DE JANEIRO
コノヨコモジハ、キリトリテ、テガミノオモテニハルニヨイテス
▲郷里送金▼
一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候。
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし卽ち全無手數料にて御郷里の受取人へ送り屆け申上候。
三、金子はコンバロル、郵便爲替又銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de S. Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de S. Paulo へ御拂込被下ても差支無之候
四、何にしも送金申込書は必ず忘ずに當店へ御送り被下度候
預金
伯貨定期預金 一六ケ月以上年四分五厘
壹ケ年以上年五分
伯貨當座預金(小口)……年四分
日本貨定期預金利息六ケ月 以上年六分
▲預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御送附可申上候間御申込の際は最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候
リオ、デ、ジャネイロ
横濱正金銀行支店

R. C. Sarzedas, 41 — S. Paulo



經費と時間の節約を希はれ、仕事の能率を倍加さるゝを望まるお方は
▲▲堅牢 ▲▲便利 ▲▲有効で安價な
プランタ器
丸石印のを御使用なさい
第一号器 ●特價 二七ミルレース
第二号器 ●特價 二四ミルレース
送料 北西線内は一個四百レース 他線は一ミルレース
御送金御通知次第發送致します
卸、小賣販賣
▼尙農具一式の御注文に應じます
北西線ベンナ驛カフエーランヂヤ 郵函一〇一
製造元 丸石由松
Y. Maruishi
Caixa, 101 Est. Penna L. Noreste

電報欄

◉前獨帝家族へ

伯林八日電、プルシヤ國內閣に政治問題として議せられた前獨帝系家族の財產沒收は、審議の結果賠償支拂しやる事になり千五百萬マークと計上された。

◉日本の棉買入れ

有力なる日本の一シンヂゲートは、印度ボンベー市に於て、時價二百万圓餘の印度棉を買入れた由ボンベー八日電に見ゆ。

◉亞國の軍器購入

ブエノス、アイレス市八日電によれば、亞國政府は一般周知の收入金貨七千五百万ペソにて軍器購入の注文を委任したと發表して居る。

◉英國工業の危態

ロンドン九日電、英國勞働委員長ア、ジエ、クック氏はウキクフオードにて演說して曰く、英坑夫同盟罷業は、汲めども盡きぬ擴大はせないが、飢ゑても捷つ迄は抗爭するだらうと。

◉ソビエート政府諸柱石潰裂か

ロンドン九日電として、デリメール通信員のリガ市よりの報によれば、トロキー、ジノビエフ、カメネフ及ラデツクの諸氏は、政治謀反からシベリヤに逐放さるゝに至るべき形勢あり、該諸氏の對スタリ氏への反抗は直ちに鎭壓されたと。

◉英獨工業會議

ロンドン十一日電、英獨の有數なる工業家により成立すべく協議されて居た工業會議は、歐羅巴各國の工業諸團体加入により成立すべき模樣で、最近ロベルト、ホーンス郷を會頭として常備委員會が組織された。

◉聯盟航空會議

ロマ十一日電、今日各國聯盟中央委員出席により、聯盟航空會議が當市に開催された。伊太利政府代表デ、スカレア氏によつて開會の辭が述べられた。

◉土耳古が航空機製造所を新設

君府十二日電によれば、土耳古は飛行機製造所を開設した、土耳古開闢以來の出來事であると。

◉日本法相襲はる

東京十二日電、法相が自働車より降りた處を三名の兇漢に襲はれ腕に負傷した。

當局は兇漢逮捕に奔走して居る襲擊原因は不明なるも、學生關係と信じられて居ると。

◉支那人—東京で

支那の大臣揚儀氏は東京市中の一街を通過の折、二名の不明なる兇漢に投石された由。

ラヂオ

▼救濟資金の八十五万圓は最后の糞詰りをやつて居る、バウル領事館で灌腸中である、年內に下ればいゝが

▼同仁會の病院敷地紛擾問題は昨今ジタバタ中であり、瀧澤仁三郎に五コントスで紛擾解決をまかせたと噂もある、事實なら矢つ張り陽氣の性かな

▼新造處女航海のモンテビデオ丸が來る、日本造船界の譽じや、邦人移殖民殊に在サントス邦人はさ肩身が廣からう

▼救濟資金貸付ノロ線各驛世話人が一通り揃つた、あれで一ツ二ツ世話人として粒の變なのもある、大態はいゝ女房役じやが、色の黑い皺だらけの女房顏、色事ならゾツトするね

▼コンゴニヤ植民地測量中の運天政行君が過つて自殺した、沖縄縣人としていゝ青年を一人減らした運天だね

▼サントスで先日客死した山本ドツトルは婦人病の名國手だつたそうな、人間は惜しまるゝ時じやなんて云つても解らぬ奴も居る

▼パラナ河の鐵橋も落成したが客車の連絡通り出すのは何日の事だらう、橋の手前五十キロから未だ枕も敷いてない

▼祖國では政治繁忙期が益々近づいてる、憲政會の天下か議會解散か、恐らく政友にも本黨にも默つては讓るまいて、ラヂオには解散と響いてる

▼熊本海外協會が殖民地を當州に物色してる、永田張の智慧をかり

珈琲棉花
雜穀仲買
S. Masaki
Compra Café, Algodão e Cereaes
Promissão Caixa 16
Noroeste
一三三崎間

Dr. Hildebrando T. de Carvalho
MEDICO
小兒科、一般臨床醫
X光線、紫外線應用治療
皮膚病療法
診察所 バウル市、アントニオ、アルベス街十二ノ十三 電話二〇七
ドツトル、ヒルデランド、テ、デ、カルバリオ

バウルル驛前
日本旅館
沖山心平

徵集延期願に要する在留證明に關する告示

第一、明治三十九年十二月二日より明治四十年十二月一日迄に生れたる者及現在徵集延期中の者は大正十六年度徵集延期願に要する在留證明方を出願すべし

但し大正十六年四月十五日迄に滿三十七歲に達する者は大正十六年度の徵集延期の手續を要せず

第二、今回初めて右證明願を差出す者は日本出發及伯國上陸の各年月日を願書に左の通り記入すること

日本出發　何年何月何日
伯國上陸　何年何月何日　氏名　生年月日

第三、在留證明願の日附は大正十五年十二月一日以降となす事

但し右願書の受付は便宜上本年十一月廿日より開始す

第四、在留證明手數料は五ミルレースとす

但し本籍地へ徵集延期願並に在留證明書を當館より發送方希望の者は右手數料の他書留送料八百レースを返信希望者は更に二百レースを加へ合計六ミルレースを何れも「コンバロール」銀行爲替又は郵便爲替にて送金すること

第五、手數料其他は必ず願書と同封にて發送すること

但し止むを得ざる事情により金員丈を發送する場合は送金人の氏名、本籍地、現住所を詳記したる書面を封入すること

第六、在留證明に關し當館に照會する場合は發信人の氏名、現在留地及本籍地を詳記すること

當館の管轄區域は左の如し

ノロエステ、マットグロソ州、ソロカバナ、ボツカツ奥及バウルー迄（パラナ州を除く）　バウリスタ（プロータス以西）及リオプレト郡

第七、在留屆又は轉居屆未提出の者は在留證明書と共に提出すべし

第八、在留證明願並に徵集延期願の各樣式は左の如し

在留證明願（正副二通）

本籍地　府縣郡市區町村字番地
戸主何某「長（二）男」兄（弟）
（本人戸主ならば戸主と記すべし）
在留地　伯國　州　線　驛　耕地
氏　明治　年　月　日生　名

私儀今般徵集延期出願ノ爲メ必要ニ付キ肩書地ニ在留罷在候事御證明被成下度此段願上候也

大正　年　月　日　右　氏　名（印）

在バウル領事　多羅間鐵輔殿
（以下証明條白三寸を存し畫くべし）

在外國徵集延期願（一通）

本籍地　府縣郡市區町村字番地
戸主何某「長（二）男」兄（弟）
（本人戸主ならば戸主と記すべし）
氏　明治　年　月　日生　名

日本出發　年月日
伯國上陸　年月日
右ハ伯國在留中ニ付別紙證明書相添ヘ徵兵令第二十三條ノ二ニ依リ本年度ノ徵集延期相成度奉願候也

〔徵兵適齡年に於て本願を差出す者に限り記載すべし〕

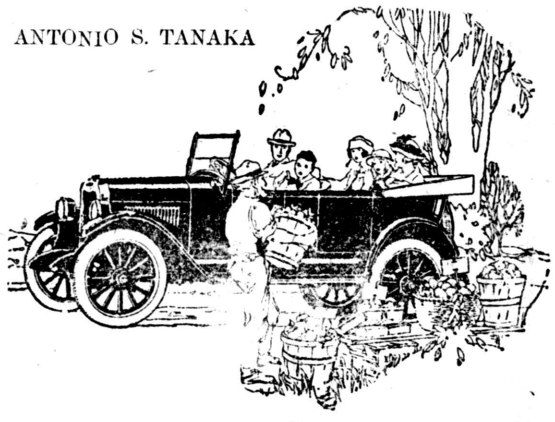
大正　年　月　日　本人　氏　名（印）

本籍地　何聯隊區徵兵官殿

宛所　在バウルー　帝國領事館
CONSULADO DO JAPAO
Caixa Postal, A　BAURÚ

大福旅館
館主　武藤伊助
ノロエステ線リンス町

Dr. Jayme DE Oliveira
醫師
外科醫として一九二三年度伯國醫界より金メダル及特別褒賞授與さる
耳鼻咽喉、產科、黴毒、トラホーム治療、フエリダ、ブラーバの最新式療法
ドツトル、ジヤイメ、デ、オリベーラ
血液、ウミ、糞便、啖等の檢査の爲め顯微鏡を備ふ
紫外線應用及電氣療法
何時にても何處へでも御招きにより出張診察す
北西線アラサツーバ市公園廣場　電話四十一番

Officina Mechanica
ANTONIO S. TANAKA

各種自働車の一般修繕に應ず
バウルー市パチスタ街
6—20　郵函九六　田中庄助

棉花買入!!
ソロカバナ線、セルケーラセーザ驛
郵函拾四番
雜穀仲買商　岡島仁郎

アラサーバ驛唯一の邦人宿
御旅館　伊藤
ノロエステ線アラサツーバ驛前
館主　伊藤作太郎

創作

夢後の思ひ出

ベンナ　古澤竹窓

（一）

歡喜と驚愕の余り、

「オ、俊子さん」と、身を起した一瞬、側に居た彼女の姿は一時に消滅してしまつた。

……夢……夢と直感した時、昂奮してゐた心も、緊張してゐた筋肉も、落膽して意識が明瞭になり凝視すると、復の樣に暗い深淵さと沈靜な夜の幕と。

生命を刻む如き目醒し時計のセコンドの微音より他には何物もない。

「夢」を、思ふと今迄永く忘れかけてゐた深い寂寞が身を襲つた。俊子の復活がほんとうに實現したとすれば、私の環境は幾多の福光と、喜悅を惠まれたか知れない。過去の享樂、現實の悲哀は交る交る頭の中に展開され、堪らない程の沈痛を胸と頭の奥底に感じ、焦燥と慚愧の情に包まれた。

……彼女の死……

私の過去半生のターニング、ポイント。

希望も理想も裏切られ、生命の輝きは涙の爲めに曇つて了つて、暗い人生行路を辿るやうになり。

私自身の性格を一變して、打てば反ばつする樣な反動のみ求めた昔は寂寞な空虛の現在に化して、快活相も、沈思のみに富む時が續き憂愁相に變じて了つた。

私の性格變化の原動を知つて居た人は、心配して運動、旅行と成る可く明るい處へ出る樣にと最初の中は五月蠅い程に言つて居たが二ケ月三ケ月を經ても、一年越しても浮かない沈思のみ續けて居るので、周圍の人も余りイサコサ云はなくなり、自分には却つてその方がよいと思はれた。

總ての事物に對して私自身は寛大の德を認めながら、魂に對しては容捨ない振舞をなし、私の心はデカタン的に陷つて居る。

……俊子の再現……が

「ほんとうにあつたなら」と、詰らない事なれど私の心は平常も云つて居る。

彼女が眞に再現したら、私の身心には自然に育まれた、人らしい人としての愉快が生れるであらう

凍土に覆はれ、寒い冬の期間を暗い處に過した草花が、春の麗かな陽光を享けて萠芽する時の樣に言ひ知れぬ欣喜に滿ちた生命を得て、昔の樣な温かい血液が肉體を運行する樣になる再轉機が訪れるであらうと。

「然しそれは空想だ」と、心中に叫んで女々しい心に鞭つて見たが無駄であつた。何處までも自分を抑へやうとした感情も強いけれど同時にその感情を支配して行く理性から離れるとの出來ない私でした。心の中の苦しみは深刻なものでした

今彼女の姿を夢々ては新らしい傷となつて、過去の印象は限りなく描出されて、暗い夜闇に抱かれて、思ひ出深きステートが偲ばれた。

（未完）

△▽聖州歌壇△▽

母

日出夫

思ふ事皆くひちがふこの頃に母は歎き
ぬ吾はも悲し

老ひて行く母の心の悲しければ吾さか
らはじつゆさからはじ

强く生きんと思ふうらより寂しがるか
ひなき吾れよゆるしませ母

なやましき心抱けばこの頃のはら立ち
しかなおろかなる吾れ

母一人大根たね播く川べりにこほろぎ
のなくつゝましき秋

俳句

汀打浪

芥燒く夕

芥燒くあたり明みに蛙聞く
芥燒く煙の上や初夏の星

自働車の幌下させぬ初夏の朝
麗かや宙に羽搏き行かぬ鳥
靄のゐだチチと傳ひて囀れる
青嵐帽の編目に髮の根に
雨後日ざし若葉の乾く匂ひ哉

芥燒く夕

芥燒く闇に飛ぶ蟲音太き

法華信者 花野雲平君へ

松本高信

君は日蓮宗の筈だつたのに、いつか淨土宗に改宗したのか、業だ、宿命だ、輪廻だと、今更弱つたらしい事を言ひ出したもんだ。

御妙判に

「法華經の肝心、諸佛の眼目たる妙法蓮華經の五字、末法の始めに一閻浮提に弘まらせ給ふべき端相に日蓮先きがけしたり、苦黨とも二陣三陣に續いて迦葉、阿難にも勝れ、天台傳敎にも越ねよかし」

とあつたぢやないか、本化の若黨たるに自認自證出來ん樣では、功名顏に妙法の說敎は出來まい。それにちつと位の不景氣に親鸞を擔ぎ出して女々しくも

「吾れは不善を憎めども罪業の致すところ」

なんて余りみつともない法華信者だ。高山樗牛の況後錄に

「くびは鋸もて引きも切られよ胴は稜鉾をもつて貫かれもせよ

この息の通はんほどは南無妙法蓮華經の聲はよも絕たじ」

と絕叫した日蓮の熱烈の意氣はやがて妙法の精神ではないか、信者の君がそれを知らぬ筈もあるまい倒れても止まぬ意氣、其處に日蓮があり、若黨の二陣三陣があるんだ。石丸伍平が

「悲痛の時ほど、ほど餘計に人間味がある」

と言つてる、滯めは餘りと消極的だ、俺は爭鬪の積極的なのをとる爭鬪だ、力だ、拳だ、自力自修の勇者たるを冀ふ。

諸難に會へば反つて之を嘔歌して矯慢なる己れを鞭つ妙法の槌なりとも思ひ、魔障であるとも思ひ、自分は毒身であるとも究意は靈法正義の佛子となり得る爲め諸魔は來り試む、來れ諸魔、然して吾れの忍難力を試練せよ、其意氣が法華信者の本領じやないか。

近時流行の親鸞主義を見るに、財界の不景氣、生活難、綱紀の紊乱風敎の頽敗、惡人の跋扈、强い者勝ちの現世相に心弱き正直者、律義者、世道人心を憂ふる者等に安價な隱れ場所を提供したる樣にしか見ねぬ。

現前の壓迫に惱む者に向つて最も簡便な通道を敎へる、壓離穢土、欣求淨土の信仰は人間を小弱視し現世を罪惡の巷と爲すの點に於て周圍の煩悶より救濟するばかりか一回の念佛で彌陀の懷に抱かれ、罪障が消滅するなんてこんな結構の話しはない。

元來、近頃の親鸞宗者は環境の壓迫、生活の脅威に臆した病人なんだ、だから自ら境遇を改造し、運命を開拓しようとする勇者なら兎に角手つとり早く安心だ、立命だと冀ふ輩にとつては絕對他力主義ほど好都合な福音はないんだ。

親鸞主義は又その一念往生義に於て巧利主義に徹底し、其の惡人正機說に於て善惡無差別觀に徹底してゐる。

自意識の健全な旺盛なものが絕對他力などにすがらう筈がない。

專ら生命の安居を渴望して理性の判斷を忘れ、己れの僞善行爲の苦しさから避難所へ――それが今の誤られた親鸞主義ではないんか。

勿論、佛敎に說く所の念佛信仰は一心三觀の哲理に發源し、一呼吸に三千世界を呑吐し、一擧手一投足の裡に宇宙一切の靈動を見るといふ深遠微妙なる敎理を含包してゐるんであるさうな、（然しそんな事は己れには解らない）

けれども俺から見ると今の親らん主義は餘りと消極的だ、神經衰弱的だ、安賣的だ、あきらめ的だ。

そして僞善者に好都合な通口上を與へるばつかりだ。

大分熱が上つたが、尤も君の標題目的指示が「こんなこと」だから「あんなこと」だつたかも知らぬが去年の今頃「金か、命？」と大いに氣勢を上げて俺達貧乏人を羨ましがらせた「神樣に惠まれた」君が今年の「こんなこと」は少くも私の意外とするところだ、矢つ張り昔の「透明の晶壁」でぶつつかつて來る現實で聰明な君の頭もいろ〳〵になるんだとひそかに思ふ。

妄言多謝

MARCENARIA JAPONEZA
Massagi Koga
BAURÚ
家具製造並に販賣
バウル市八月一日街（シネマ眞前）
古賀政次

CASA NISHIMOTO
Armazem
雜穀仲買
薄利多賣と親切と御便利とは本店のモットオであります
西本商店
ノロエステ線
アラサツーバ驛　郵函二〇八
アグワリンバ

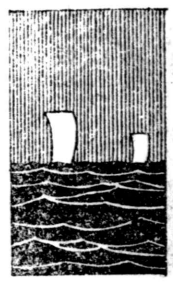
Pensão e Bar
EM LINS
Kaneco
御宿金子
リンス市入口の坂下にあります
常驛に最も近い處で御座ひます
汽車にお乘りのお方には至極便利で御座ひます
輕便なお辨當も差たてます
ノロエステ線リンス市九月七日町
（市へ入口の坂下の右側）

雜貨小間物
雜穀仲買
吉田兄弟商店
ノロエステ線ビリグキ町
郵函　二七二番

大阪商船指定切符取次所
聖市旅館同業組合
末廣　コンデ、サルゼーダス街五〇　中山忠太郎　電話　セントラル四五五九
あさひ　コンセレーロ、フルタド街一　秋田久米三郎　電話　セントラル四一〇二
大和　コンセレーロ、フルタド街二　坊迫健造　電話　セントラル五八一九
小川　コンセレイロ、フルタド一六　小川源右衛門　電話　セントラル四四七六
上地　ボニータ街一一　郵函一二二五　上地彌藏　電話　セントラル五七〇一
東京館　マウア街二九一　中村渠三郎　電話　シダデ一四七六

Hotel Japonez
日本旅館
御便宜を旨とし取計ひます
北西線ベンナ驛カフエーランジヤ町
川尾利市　郵函一〇一

祖國便り



低腦兒童の原因調査の統計

酒のみの兒に一番多く　年齢は十歳で第三兒に……

東京市では今春來各區小學校兒童中特に低腦兒と覺しき四百三十八名に對し特種教育を施し、之等兒童の原因に就き調査中であつたが漸く纏まり發表した。

○

それによると遺傳系統患者が一番多く、其中でも父母等の直系が五割七分あり、伯父母の傍系が一割一分で、それ等の中何れかゞ大酒飲であるのが二割八分の多數を占めて居る、又胎兒中父が大酒飲であつのが二割等酒害の影響が一番多い。

○

次が營業關係で母乳で育てられたものは僅かに一割で他は何れも母乳以外のもので育てられた。

○

環境的に見ると兩親の生存して居るものが七割、繼母のみで育つたもの三分、孤兒四厘、私生兒九厘の割合になつて居る。

○

疾病は腦膜炎を患つたものが一割五分、頭部負傷が四分、神經症狀が三割五分からあつた。

○

大體に於て榮養不良といふべきもので三男女が一番多く、長男女次男女の順になつて居り、三人兄弟が多い、又年齢は十歳が最多で歩行言語の遲れたものが大多數である。

日米親善の爲め　學生交換

魁に選れた三名

豫て米國フレンド派が日米親善の爲め計畫した日米學生交換問題は、アール、ジョーンズ博士の渡日と共に愈々具体化し、人選の結果左の三名が決定し去八月十七日第一回の渡米學生として横濱を出帆した。

東京キリスト教青年會勤務　伊藤多度作（二九）
富士見高等女學校教師　原野　喜代（二五）
日進英語學校教師　長谷川　康（四九）

箱根御用邸改築

秩父宮御用邸に

箱根の御用邸は大震災で破壞されてから土地建物全部を賣却する方針で風雨にさらされてあつたが、御用邸地としては絶好の場所であるといふので宮内省では賣却の方針を變へ、來春御歸朝の御豫定である秩父宮殿下の御用邸に改築することに決定した。

六大學へ

新たに補助

文部省では來年度新規要求として百五十萬圓を計上し、私立大學六校に供託金として右金額を補助する事に決定した。即ち現在新大學令による私立大學總數廿二校の内、早稲田、明治、慶應、中央、日本、法政、國學院の各大學等七校は既に國庫より補助を受けて居るが更に關西、同志社、專修、立教、東洋協會、立命館の六校へ一校廿五萬圓宛十ケ年繼續（一ケ年二万五千圓）補助することになつたのである

アジア運動を露國に賴る

プラタップ氏大憤慨

日本より强制的に送還されたアフガニスタンの志士プラタップ氏は北京に入り次の樣に語る

今回の日本政府の措置は全く外務省を通じて英國官憲の壓迫の結果で、日本及支那の門戸は全く余に鎖された、今後は遺憾ながら故國に歸りロシアの勢力下に亞細亞人のアジア運動を興さねばならぬ、只今回の余の不幸に對し日本國民が示した厚意には心から感謝する。

寺尾教授が最高の名譽

ロックフェラー研究所から招聘さる

攝政殿下が先年沼津御用邸内で珍らしい一匹のエビを御發見遊ばされたので專門學者に研究すべきやう御沙汰があり、水産講習所教授寺尾新氏が研究の結果シオジオ蝦と名つけられたが、今回同氏は更に米國のロックフェラー研究所から招聘さるゝことになつた。學者として名譽を負ふことである

灌漑用の井戸から　毒ガス

兵庫縣氷上郡國領村字平田の灌漑用の井戸に魚が死んで浮び上つてゐるのを見た同村の進清二四郎がそれを捕へんとして井戸の中へ三尺程入ると突然苦悶し始め遂に落込んでしまつたので、父大藏は梯子を下し井戸の中へ入らんとしたが、同じく三尺程の處で落込んだので大騒ぎとなり、近隣の人々が竹竿で二人をつり上げた處兩名とも絶命して居た。取調べによると該井戸からは盛んに毒ガスを發生してゐたものと判明した。

三千百卅六万の蠅

第二回蠅取日の總締め

去八月二十日東京全市に行つた蠅取デーの成績は警視廳の調査によると三千百卅六万五千三百十七匹（廿石餘）を數し、昨年（比し五倍余の好成績を納めた。

善福寺の再建

工費二十万圓で

先年炎上した神戸善福寺の再建計畫も進捗し愈々廿万圓の工費にて工事に着手することになつた。同寺は西本願寺別格別院であり大谷尊由師の住職寺で既に寄附申込も十五万圓に達してゐると、新築する本堂は八間半に十三間半の三階建鐵筋コンクリート建築で、下は學校教室に二階は圖書室及集會所に三階を大講堂にあて、説教等は別館對面所に於て行ふ設計と。

日露戰爭の彈丸が出る

高知市潮江町市會議員岡繁彌は日露戰旅順攻撃の際後頭部に負傷し其後腫物が出來たが無事に治つて居たのに、昨今首筋に痛み起り診察を受けた處小銃の彈丸が挾まりゐる事發見し摘出した。二十三年間何の苦痛も意識もなく止まりゐたのには醫師も本人も驚愕。

光演師に破産申立

東本願寺前法主大谷光演師を相手取る破産申立が京都區裁判所に提出された、申立人は大阪市西區南堀江二番町島仁佐氏で、光演師振出爲替手形金壹萬圓の不拂により出訴したものと、光演師は川上辯護士に一切を委任した。

Hotel Nippon
Caixa Postal, 71
ペンナに お出での方には
ホテル ニッポン
ペンナ驛カフェランヂャ町汽車道通り
副島商店ホテル部

北西線ペンナ驛
吉野旅館
雜穀 珈琲 棉 仲買商
右田辰彦

Alfaiataria Yabe
SÃO PAULO
最新歐米型迅速叮嚀御用命ニ應ジマス
矢部洋服店
聖市、ラルゴ、ダ、セー九 二階の第壹號

CASA TOKIO
材木 家具 商
カーザ東京
聖市、ルア、バロン、デ、イタペチニンガ二〇
杉本芳之助

Dr. Calixto
R. A. Alves, 9-42 — Baurú
臨床 手術 産科
小兒科
カリストデ、メデイロス
專問
フエリダ
ブラーバ

Escriptorio Commercial
Caixa 44 Est. GUAYÇARA
L. NOROESTE
一般商事 事務取扱
貸金取立、清算、抵當物整理、商業通信、貸借對照表簿記一切
相馬ボルジエス合同事務所

●●●日本品 ●●●小間物、●●●

コンゴニヤ殖民地の朝露と消へた運天氏

所持のカラビナで過つて生害

十月九日午前九時、バラナ州コンゴニヤ新殖民地測量に從事中の野村エンヂネイロの助手運天政行氏が、自分の携帶せるカラビナで過つて胸部を貫通し死亡した由。

當朝は昨夕の仕事の續きである一小川の區域をレバンタメント中で、一行は運天氏と古關德彌氏其下に二人のピカデイロの黑奴を使役して居た折り、只ならぬ一發の銃声に愕然として古關氏は密林のピカーダ二十歩ばかり距てた運天氏の方へ進んだ前面、運天氏は虛空を睨んで倒れて居た。

側に駈け寄り名を呼べど、モー運天氏は答へず、僅かに虫の息、古關氏は直ちに使役のカマラードを呼び、自ら小川に走り下り清水を帽子に汲んで大急ぎに戻つて、運天氏に氣付けがはりに與へたが水は只一口通つただけで二口とモー喉へは通らない。

應急手當として傷口よりの出血を首に卷いたレンソで止め、頻りと看護に努めたが何を云ふも山の中、一瞬一分、運天氏の顏貌は血の氣を失ひ死の容態へと陷るばかしだ。

それから三十分、古關德彌氏の腕に抱かれたまゝ彼の靈は遂にコンゴニヤの朝露の如く天外へ去つてしまつた。それから皆で彼の死骸を擔いで、コンゴニヤ河畔の本隊へ寂として歸つたは十一時頃であつた。

昨今野村エンヂネイロは、測量隊のカミニオンにてカンバラを經オウリニヨス驛に出張、總領事館より該驛に待てる齊藤武夫書記生と仕事の打合せ中とて不在、彼の歸りを安閑と待つても居られぬので、直ちに人を走らせ本隊より十七キロの彼方の一ツルマにカミニヨンを借りに遣り、そのカミニヨンが來て運天氏の死骸を積み出したのは翌日の午前一時であつた、星も空に夢み、地も睡むる森中の一筋道を貨物自働車は眞暮らに走る。

カンバラ町に到り、それより又急使をオウリニヨス驛迄カミニヨンで走らせ、野村エンヂネイロに悲報を告げ、取るものも取り敢へず戻つて來た野村氏と打合せ、死の斷末魔に立ち會へるカマラード二人と、デレガードに手續きを濟ませ、愈よカンバラ町共同墓地に埋葬したのが十月十日午前八時であつたと。

運天政行氏、沖縄縣人には稀に見る珍らしい清い青年であつた、縣でも素封家の血統をうけた人と行年二十九歳、柔は肌の熱き血潮にもふれず、ヒヨロ高い丈の眼の大きい涼しい彼の姿は地上から消へてしまつた。

世話人の顏振

救濟資金八十五万圓の貸附けに關し、バウル領事館よりノロ線各驛の債務者側に世話人を互選させた處、左の顏振が女房役として現はれた。愈々となつたら多少の變更が領事館側からもある事だらうと思はれる。

バウル附近　弘中興介　空閑直太郎

チビリサ驛　富ガシ德五郎　石井重藏

ノゲーラ驛　上原牛

アバイ驛　藤本久太郎　眞下源明

アルベス驛　田中愼一

ラウロ、ミール驛　嘉悅千代藏

グアランタン驛　松岡健太　高岡仁平

濱本賴槌　玉那ハ重榮

ペンナ驛　山下永一　佐藤勘七

矢野淺太郎　中野六郎　河村保喜

福原信義　中野武十　藤裏善吉

中津道藏　宮平市助　福永司郎

增田雅太郎　佐々木吾作　楠正東

リンス驛　弘木百太郎　牧田周一

生野辰次郎　作田益太　堤亀太郎

原惣太郎　師富卷藏　高橋伊三郎

菊池與次郎

グアイサラ驛　藤井俊一　松本幸吉

川野益躬　澤野恒夫　林八三郎

山本森喜代　篠崎正常　二田平造

佐藤次郎

プロミッソン驛　間崎三三一　坂本律藏

佐々木光太郎　建本健介

桑野延吉　長谷川庄松　多賀時藏

佐藤嘉次郎

カピツーバ驛　橋八郎

カルモン驛　高良亀吉

ペンナポリス驛　岡本忠吉

グリセリオ驛　知名定榮

ピリグキ驛　宮崎八郎　安瀨盛七

綾部伍市　蓮見六次　山内熊

鐘江藤太郎　佐々木廓吉

グアタンブ驛　波止豊吉

アラサツーバ驛奥　兼安顯誠

此外一二の書き漏しもあるか知れない。

ソロカバナ線奥地貸附殖民地よりは左の諸氏である

星名謙一郎　伊藤庄吉　阪東喜

內片岡香市　生方松四郎　上園傳藏　しゞ谷駒平

ソロカバナ線の汽車しよう突

去る十二日午前九時ソロカバナ線夜行客車が聖市向け進行中十一キロメートル驛の處にて、線路交換手の怠慢から貨車と衝突し、四十名近くの負傷者を出した慘事を呈し、中には三人の日本人もあつた、中一名の藤富茂助(?)三三歳(フリツーラ在住)はサンタカーザに遂に死亡した、他二名の負傷者は加藤メズスキ(?)二八才オウリニヨス在住者、村上清喜(?)三四才コチヤ在住者であつたと。

アンタルチカ ビール會社の水

ビール製造會社の先決問題として、約三ケ月にも亘り水の有無、その良否を試驗中であつたバウル市東郊に工場を新設するアンタルチカビール會社は、最近漸く水量の豐富なる事判明し、其の質も良好と見られてゐるが、尙嚴重な試驗を行ふべく該水の一部をサンパウロ市へ送附した。

在日本英大使館に火をかく

東京電、去拾三日早朝、英大使館に放火しかけた日本の男が、一商店の裏に逃げ込んで囚はれた、自白によれば、同館の僱を解かれた怨みからだと

誰れを殺したのか

ドウス、コレゴ市の警察に捕縛されたアチリオ、ドス、サントスと呼ぶ伯人は、嘗てプロミソン驛の山路で一日本人を殺害したと白狀したで、一昨日バウルを經て、北西線プロミソンの兇行地に護送された、誰れを殺した奴だらうか古庄茂をか、或は他をか、彼は數ケ月前と述べて居る、誰れだらう

十月十二日 亞米利加發見日

去る十月十二日は、クリストボン、コロンブス氏が亞米利加大陸を印度大陸と間違へて發見した紀念日である。

それは西暦一四九二年のことであつた、今より四百三十四年前である。

三コントス五百ミルをすらる

去る九日、バウル驛とチビリサ驛との中間にて、三コントス五百の正金銀行振出手形其他を掲られた一日本人があつた、新渡伯者の一人であるとか。

日本郵船會社のかま倉丸

去る七日サントス入港の日本郵船會社船鎌倉丸は來る二十五日サントス港出帆、次船神奈川丸は十一月中旬出帆の豫定、

人事來往

▲間崎三三一、西郷の兩氏十日來芭十四日歸殖

▲尾崎孫三郎氏十二日來芭翌出聖

▲石川增太郎氏十四日來芭出聖

▲仲眞良德氏十四日プロミツソンより來芭出聖

▲瀨木テツレイ氏十四日來芭リンスへ

横濱正金爲替相場

横濱正金銀行爲替相場は締切當日迄に通信未着

K

三共商會

サントス

ルア、セナドール　ダンタス五三
電話　セントラール　三〇五四
カイシヤポスタール　三二八

削節發賣元　前田吉太郎

バウルウル驛前

澤尾旅館

澤尾磯七

イグアペ植民地と

安全を好む獨立農希望の方は
お出でなさい
地代、アルケール貳百ミルレース
(道路費共)　年賦払込の法あり
旱害、霜害皆無、雨量適順

健康地　醫療
教育
自治　機關の整備せる

「レヂストロ」植民地(滿員)
桂植民地(滿員)
「セツテバラス」植民地
(擴張中、新方面提供)
の總稱

照會 — G. SHIRATORI
REGISTRO, VIA SANTOS

雜穀仲買
雜貨小間物

やまぐち商店

山口兩助

北西線ピリグキ町　郵函二一七

死亡廣告

運天政行氏事

大正十五年十月九日午前九時バラナ州コンゴニヤ植民地に於て地形測量中過りて所持のカラビナにて變死致され候間不取敢カンバラ町共同墓地に埋葬仕り候段生前辱知諸兄に謹告仕り候

大正十五年十月十日

コンゴニヤ植民地測量隊

假喪主　野村秀吉
友人　植田連
古關德彌
外トルマ一同

辱知諸兄に謹告

彼の死を長久に記ねんすべくカンバラ町共同墓地に石ヒを建立致し度きに付き有志諸兄にはサントス在住者與那嶺仁五郎氏ノロエステ在住者屋比久猛德氏及尙コンゴニヤ測量たい野村秀吉(郵函カンバラ一〇五)に御寄贈なし下さらば幸甚の至りに存じ候尙御寄贈者氏名は聖州新報紙上にて領收書に代へ發表可致候

コンゴニヤ植民地測量隊一同

女忠臣藏

碧る璃園

（五十五）

お大は早くも衣裳を着替へた、先を切つた髪が光る、白綸子の襟に真操の花が薫る、身にかゝる疑ひ晴れて、心の願ひ協ふのであるから、長い廊下を踏む足が宛然天の梯を渡る思ひであつた。

お菊は梅ケ枝と松ケ枝とに扶けられて廊下を越ゐる、晴れやかな秋風がソヨ〳〵と面を吹く、お庭の景色、かきの色が一段と晴れて見ゐた。

謠泉院は對面の間へ出て居た、上段の簾が捲かれて、脇息に純子の褥、何處からともなく香りがする、二の間には戸田の局、三の間からお縁側へ流れて八九人の女中がズラリと列ぶ、お大を先にお菊はずつと末座に手を支いた。

暫時すると謠泉院が現はれる、雪よりも白い頬を淡く掃いて、短かい髪がふつくりと取り上げてある、紅梅絹の小袖、朱珍の帶、黒地に大きく老松を青綠で染めて、三つ五つの散り紅葉を燃ゐる樣な緋で染めた襠衣、愁ひに鎖された顏に懷しい色を浮べて、お菊お大の平伏してゐるのを見下しつゝ座に着いた。すると執次の侍女が

「橋本平左衛門殿御家内、大石内藏助樣お召使お菊お目通り」と披露した。

とたんに二人は顏を擡げて恐る〳〵見上げた、お大の目は清しくお菊の眼は濕んで見ゐた。

「二人の者へお言葉を遣はされませ」戸田局は手を支いて云つた

「お大」と謠泉院は心をこめて呼んだ。

「はッ」とお大は平伏する、頭にさした銀のかんざしに、嬉しさの影が映る。

「菊は和御寮か」

陪女のお菊へ直々のお詞、只その一言だけで、此處に息を引取るとも惜しうない。

「はゝ」とお菊は有難涙にくれた。

「兩女とも甚う苦勞致した氣、大儀に存ずる」

「は、は」と二人は額を敷居につけた。

「內藏助家內から消息を託け居る氣、苦しうない、これへ持て」

「は」とお菊は思はず身を起した、そして兩手で懷を莽と抑へた。

「お許しぢや、お進みなされ」

梅ケ枝は心付けた、お菊は「は」と云つて膝を進める、氣は張つて居るが思ふ樣に身體が利かぬのでばたりと前へのめらうとした。

「御前でござるぞ」

戸田局が聲かける、梅ケ枝は膝行り寄つて抱きかゝへる。

おきくはほつと息をした。

「お氣をたしかに」

うめケ枝はおきくの耳元に口を寄せて云つた。おきくは總身に力を入れて、居住居正しく平伏した

「お陸から託けられた物あると云ふ、眞實喃」

謠泉院の御意は重ねて下る、おきくは懷へ片手を入れた。お陸の消息が指に觸れる。

「恐れながら御前樣へ……」

命にも替へまじく持つてゐたのを取り出して、うめケ枝の手に渡した。うめケ枝は受けて恭々しく御前に捧げる、謠泉院は手づから受けた。

おきくは是れで死んでもよいと思つた、この一通をゐうせん院の手へ渡すために、幾度生死の巷を往來したかも知れぬ、氏も素性もない者が、歷々の御前へ出て、手づから賴まれの消息を參らせようとする、それが已に無理である、されど一心の誠をこめてすれば、どんな望も遂げられぬ筈はないと思つて、遂に無理を爲し遂げた。

赤穗を出てから一刻の懈怠もなく進んで、下司の身の上るとならぬ山の頂まで攀ぢた、そうして奥樣の御委託を果した、これで奥樣の思召はゐうせん院樣の胸に響いたわれの務めは終つた、肩の荷は下りた、此の儘命を終るとも惜しいとは原より思はぬ。

おきくは心にこんな事を思つて居た、心が遠くなるやうに覺へて身動きもせず平伏した。

お大も同じ態度であつた。こゝにゐうせん院の御目通りへ出ることが出來たのは、良人の勘當が許されたのも同じである、斯くしてお陸を始め、女ながら內匠頭樣御意恨を思ふ者の切な心を傳へ申すとを能きれば、やがて一つの手柄になる、一つの手柄を現はせば、それに替へて元々通り夫婦の緣を結ばせやうとは、お陸樣お口づから仰せ下されたとである。

斯う思ふと良人の姿が、平伏した目前にあり〳〵と見ゐる、兄嫁の顏も見ゐて來た、お大は嬉しさが胸に滿ちた。

その中にゐうせん院はお陸の消息を讀み終つた。

「兩人とも大儀であつたの」

改めて御意が下つた、お大もおきくも恐れ入つて居た。暫時すると

「きくは病氣のやうに見ゆる、當分は養生致すであらう」

「御意にござります」と、戸田の局は口を添へた。

「全快の上は播州へ歸るであらうの」

「恐れながら國許に兩親ございまするで……」おきくは平伏した

「ぢやが強いて歸らねばならぬともあるまい、此方に思ふ仔細もある、玄朴に申付け手當遣はせ」

「有難いとでございます」戸田の局は代つてお禮を申し上げた。

「お大は歸國致すであらう」

お大は僅かに顏を擡げて

「お陸樣に御約束申し上げた事もございます、殊におきくどの大病、御歸國もなるまいと存ずるで少しも早く御當所發足、御前樣御返事をお陸樣にお傳へ申したう心得まする」

おきくはこれで任務を終つたがお大はまだ仕事がある、此處にゐうせん院の返事を聞いて、それをお陸に傳へねばならぬ、良人の感賞を受けねばならぬ、良人と姑との勘當を赦免されねばならぬ。

「爾うあらう、さらばお陸への口上を傳へる、夫を持つて歸國、目下の健な覺悟を變へぬやう、內匠頭樣御爲に盡さうぞ、內藏助はあれど本心はまだ知れぬ、女は女同志、賴むはお陸じや」

「忝ない御意にございます」お大は心の中に泣いた。

「勞はり取らせ、殊の他苦痛に見ゆる」

ゐうせん院は優しく美しい目をおきくの上に投げて、その目にお大を優しう見て、やがて靜かに座を立つた、捲き上てあつた簾は下る、その裾から伽羅の香りが傳はつた。

おきくには別に部屋を下されたそこで充分に養生させるゐうせん院の心であつた。

アルマゼン
農產物
上田商店
ノロエステ線
プ、アルベス驛眞前

齒科醫
向井丈松
北西線プロミソン驛
郵函　四八

御進物用　宴會用
日本
御菓子製造所
せんべいまんじゅ羊羹
榮進堂
執行傳吉
北西線、プロミソン驛

ARMAZEM
de
Seccos e Molhados
反物
青木商店
清酒正宗鏑詰類一切小說、雜誌類
●●●